

《(仮)基本理念》

町民が公共交通網をつくる 住みよいまち おとふけ

現状・問題点

課題

基本方針・施策・取組

人口	<ul style="list-style-type: none"> 総人口の減少進行及び少子高齢化の深刻化 農村部は人口密度が低く散居形態 農村部のみならず市街地でも高齢化率が高いエリアがある 運転免許非保有者が町内の各地区にまばらに存在している 高齢者の免許返納後の不安は大きい
都市機能施設	<ul style="list-style-type: none"> 都市機能施設は「市街地」に集積 農村部居住者の移動手段の確保は今後とも重要 令和4年4月に「道の駅おとふけ」が移転開業した 「道の駅おとふけ」と「市街地」を往復するとちか帯広空港連絡バスが運行している 町内交通で「道の駅おとふけ」までの移動を求める声がある
経費	<ul style="list-style-type: none"> 町の移動支援に要している経費は、年間1億4千万円を超えている
通学	<ul style="list-style-type: none"> スクールバスについて、令和2年度以降、一般利用者はいない状況 居住地区によって、通学に伴う移動負担に差が生じている可能性がある
コミュニティバス	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響により、令和2年度以降、利用者は大きく減少したが、令和3年度は復調傾向(令和元年と比較し減少は2割程度) ほとんど利用されていないバス停(1人以下)がある コミュニティバスのサービス改善を求める声が多い バス停の位置について見直しの意見がある コミュニティバスの乗降場所について、現在のバス停以外で自由に乗り降りをしたいとの意見がある 「時間が合わないから」との理由で、片道利用をしている コミュニティバスの認知度は高いが、実利用者は少ない 運行路線図を見たことない町民が約4割である
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響により、令和2年度以降、利用者が令和元年度に比べ約2割減少している 乗合タクシーの登録者及び実利用者は70代以上 利用登録をしていますが、実際に利用している人は限られている 乗合タクシーの将来の利用需要が見込まれる 「乗車時間(便)が限られているから」等の理由で片道利用をしている 乗合タクシーに不便を感じていると指摘する声がある 乗合タクシーの非登録者のうち約4割の人が乗合タクシーの運行を知らない 乗合タクシーの利用意向はあるが、予約に対して不安があるとの意見がある
路線バス	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響により、令和2年度以降、利用者は減少傾向 町民の生活移動の実態として、「帯広市」まで移動している 町内交通と路線バスの接続性が悪いと指摘する声がある
施策1	<ul style="list-style-type: none"> 網形成計画の策定以降、コミュニティバスの運行内容に係る細かいニーズは把握したが、見直しには繋がっていない
施策2	<ul style="list-style-type: none"> 「農村地域予約制乗合タクシー」を本格運行したことにより、公共交通空白地域の解消および農村部居住者の移動手段が確保がされている
施策3	<ul style="list-style-type: none"> 町民のバス利用を促進するため、音更町バスマップを作成・配布したが、バス利用の手助けとなる情報の掲載が不足しているほか、乗合タクシーの情報が反映されていない
施策3	<ul style="list-style-type: none"> 自動車運転免許証を保有していない方(自主返納以外)に対する支援スキルが不足している
施策3	<ul style="list-style-type: none"> 乗合タクシー導入に伴う事前・事後の説明会等は実施したが、令和2年度以降は新型コロナウイルスの影響により、出前講座やバス環境の整備等の実施は見送っている
施策3	<ul style="list-style-type: none"> 転入者へのバス交通に関する情報提供を継続的に実施している
施策3	<ul style="list-style-type: none"> 観光分野と連携した路線バス利用促進策の展開については、観光協会との連携を図り、継続的な運行を実現
施策4	<ul style="list-style-type: none"> 町からの民間バス会社2社への公的資金の補助により地域間幹線系統を維持できている

町内移動の課題

【課題1】 町民の移動ニーズに即したコミュニティバスの運行内容等の見直し

町内移動の課題

【課題2】 農村部における生活交通の支援を目的とした移動手段の継続的な運行と利便性の改善を検討

利用促進の課題

【課題3】 わかりやすい情報の提供と公共交通利用のきっかけづくり

町外移動の課題

【課題4】 広域的な生活移動を支援する地域間幹線系統の維持と町内交通とのスムーズな乗り継ぎ

《基本方針1》

町民の移動ニーズに即した利便性の高い公共交通網の継続的な見直し

▼施策・取組内容

施策① コミュニティバスの利便性向上に向けた運行内容の見直し
[取組内容]
・コミュニティバスについて、乗降場所や便数、運行ルート、運行時間帯、バス停の環境等の見直しを検討する

施策② 高校生の通学に係る移動手段の確保を検討
[取組内容]
・通学時間帯の移動手段を充実させることによって生徒の移動の利便性は向上するものと考えられるが、そのニーズ把握や財政負担等を含めた実際的な方法を検討する

施策③ 「道の駅おとふけ」までをつなぐ移動手段の検討
[取組内容]
・既存の移動手段を活用して、道の駅までの移動手段を確保することを検討する

施策④ 市街地でのより利便性の高い新たな移動手段の導入可能性の検討
[取組内容]
・新たな移動手段の導入可能性を研究する

《基本方針2》

散居形態の農村部における町内移動を支援する生活交通の維持と利便性の向上

▼施策・取組内容

施策⑤ 散居形態の農村部と市街地を結ぶ移動手段の継続的な運行
[取組内容]
・乗合タクシーの継続と利便性向上に向けた運行内容の見直しを検討する

《基本方針3》

公共交通の利用促進策の展開

▼施策・取組内容

施策⑥ 公共交通の利用促進に向けて、町民にわかりやすい情報提供を行う
[取組内容]
・高齢者にもわかりやすい音更町バスマップの作成を検討する
・利用しやすい・わかりやすいコミュニティバス運行路線図を作成する
・音更町バスマップやコミュニティバス運行路線図などに、利用するバス停と時間を記載する「マイ時刻表」の掲載を検討する
・公共交通の活用事例を紹介する

施策⑦ 公共交通の利用につながるきっかけづくり

[取組内容]
・ICTや路線図を活用した路線検索の方法などについて、町民を対象にバスの乗り方教室や勉強会等のイベントを実施する
・買い物や通院時のコミュニティバスや乗合タクシーの利用を促進するサービス等を検討する
・上記のイベント時や町民に向けたアンケート調査を実施する際に、コミュニティバスの「試乗券」を発行するなど、公共交通に直接ふれていただく機会を提供する

《基本方針4》

町民の広域的な生活移動を支援する地域間幹線系統の維持

▼施策・取組内容

施策⑧ 町民の広域的な生活移動の確保に向けた地域間幹線系統の維持
[取組内容]
・町内から帯広市までをつなぐ路線バスの維持に努める
・町内交通と路線バスのスムーズな乗り継ぎを検討する
・今後は、十勝総合振興局が策定する「(仮称)十勝地域公共交通計画」との連携

※市街地：音更市街、開進・柳町、緑陽台、共栄台、鈴蘭、木野、宝来、ひびき野

現状・問題点における凡例

：地域概況 ； ニーズ調査 ； 網形成計画の評価